

知ってる!?

学習の基礎能力 =



脳力道場

ワーキングメモリトレーニング

ワーキングメモリ



脳科学の研究に基づき、

ワーキングメモリ・速読力を育成

トレーニング画面

PC、タブレットで自分のペースで取り組んでいただけます。

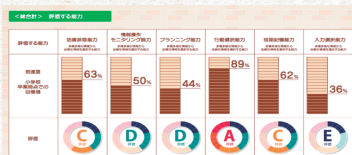


※7種類（基礎トレーニング1・脳力トレーニング4・応用トレーニング2）

ワーキングメモリの容量を増やすデジタスバントレーニングをはじめ澤口俊之氏監修の『脳力道場』など豊富なトレーニングを搭載。

結果分析

取り組み結果+分析機能で自分の強いところ・弱いところを可視化。



『妨害排除』『情報操作・モニタリング』『プランニング』『行動選択』『短期記憶』『入力選択』の各項目の能力を数値化。

ダブル受講で1,500円オトク！
効果は倍増！

JUKU LOGOS × 読む歳

月額 小学生 ￥2,500 -
中高生 ￥3,000 -

「脳力道場」との併用受講の方は
小学生 ￥3,500 - 中高生 ￥4,000 -
で受講可能！

0 そもそも ワーキングメモリとは…

ワーキングメモリは知識を学習し、脳の長期記憶へ蓄える「入り口」であり、個人によって「入り口」の大きさは違います。



ワーキングメモリの4つの側面

言語的短期記憶	記憶	視空間的短期記憶
弱いと… 教師の指示をすぐに忘れるなど		弱いと… 黒板の文字をノートに書き写すのが遅いなど
言語領域	記憶・処理	視空間領域
言語性 ワーキングメモリ 弱いと… 作文や日記を書くのが苦手など		視空間性 ワーキングメモリ 弱いと… 図形の展開図が理解しにくいなど

参考文献：『ワーキングメモリを生かす効果的な学習支援』湯澤 正通・湯澤 美紀 著

1 ワーキングメモリトレーニングで処理能力を高める

ワーキングメモリはすべての学習（思考）の基礎能力

集中力がない（注意力散漫）…、暗算が苦手…、複数の指示を聞き取れない…、読解問題につまずく、読み間違いが多い…など、日常生活においてお子様の気になることはありませんか？

ワーキングメモリは、必要な情報を「一時的に保持（短期記憶）」し、「操作（処理）」する脳機能の1つで、言語・計算・読解・表現・推論・判断・コミュニケーションなどのさまざまな高次認知活動の基礎となります。

例えば、文章の読解は文字・単語、文法の知識、自らの経験の知識などの長期記憶の情報を取り込み、情報を保持（短期記憶）しながら、処理（「認識」、「理解」、「保持」など）が進められています。

文章の読解における情報の処理（「認識」、「理解」、「保持」など）は、全てワーキングメモリで行われています。つまり、ワーキングメモリの容量や処理能力は「読解」にも大きく影響しているのです。

当社技術顧問：澤口俊之氏 参考文献：『幼児教育と脳』『発達障害の改善と予防』

2 トレーニングによる効果 - 明確なエビデンス -

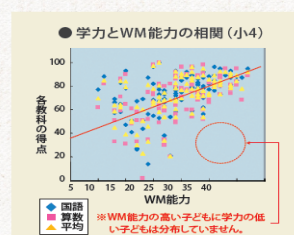
ワーキングメモリと学力の相関

近年の研究により、このワーキングメモリが習得度や学習と深く関連していることが示されています。

2008年の福岡県内の公立小学校で実施した研究において、ワーキングメモリの能力と学力には正の相関があることが確認されています。

右のグラフの注目すべきポイントは、ワーキングメモリの能力が低くても、学力の高い児童はいますが、ワーキングメモリの能力が高い児童は、みんな学力が高いという点です。※右下（ワーキングメモリが高くても学力が低い）に位置する児童はいません。

ワーキングメモリの課題における得点の低さは、学習上の困難のリスク要因である、と言われています。



月額 ￥2,500 -

お申し込み・お問い合わせは

学習塾 LOGOS

各教室まで

運営事務センター

☎ 075 (950) 1166

公式 H P

公式 Instagram



「読みトレ」de
読み取れっ！

じっくり読む = 精読
のWebトレーニング

読みトレ